

Tri-ce

三角の痕跡

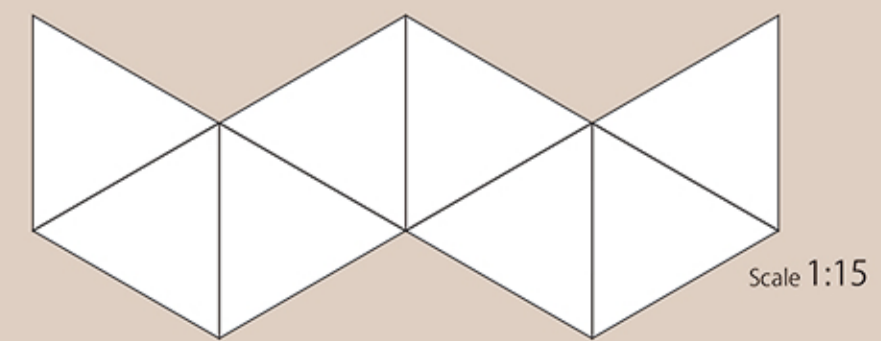
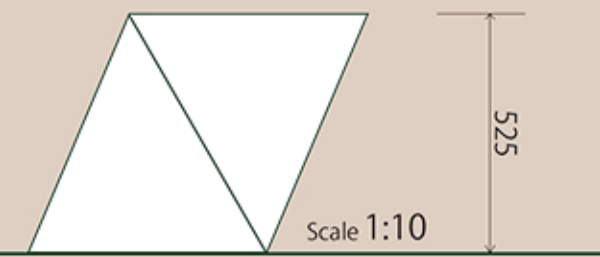
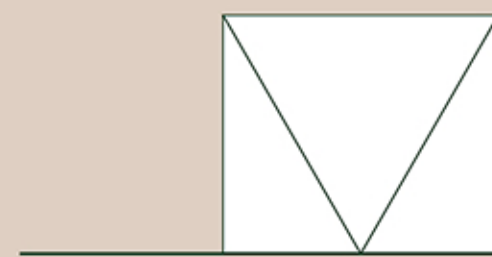
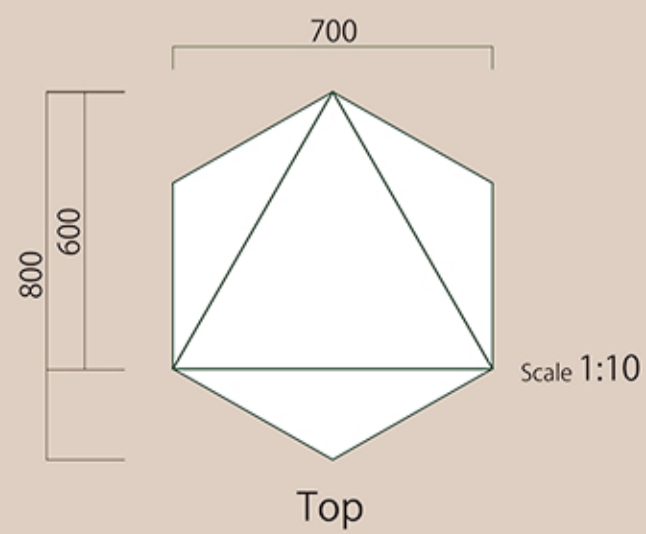


「あ、座ってたのかな」





Drawing





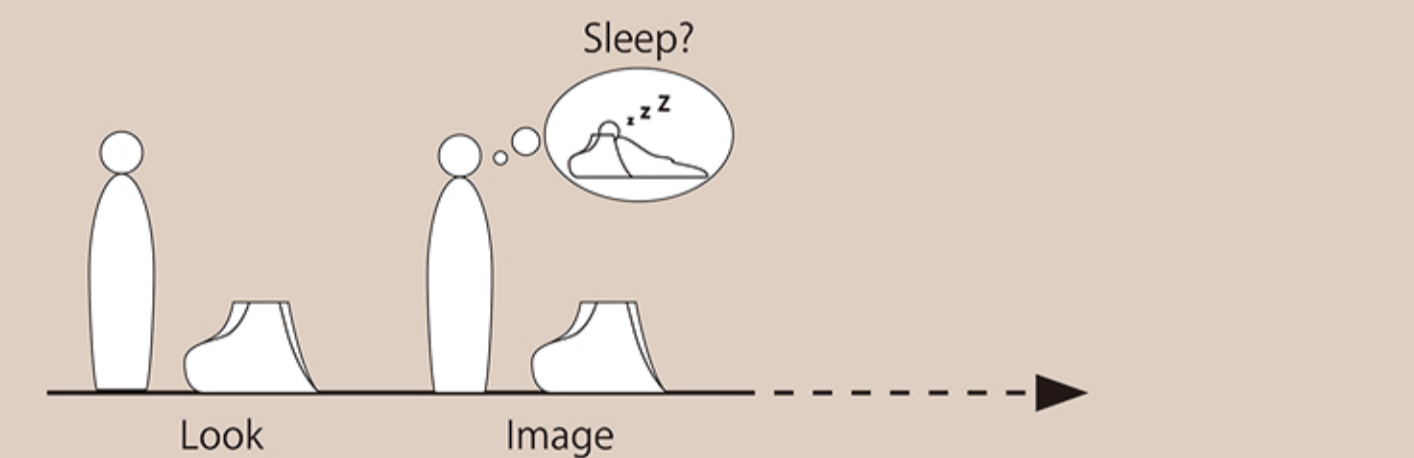
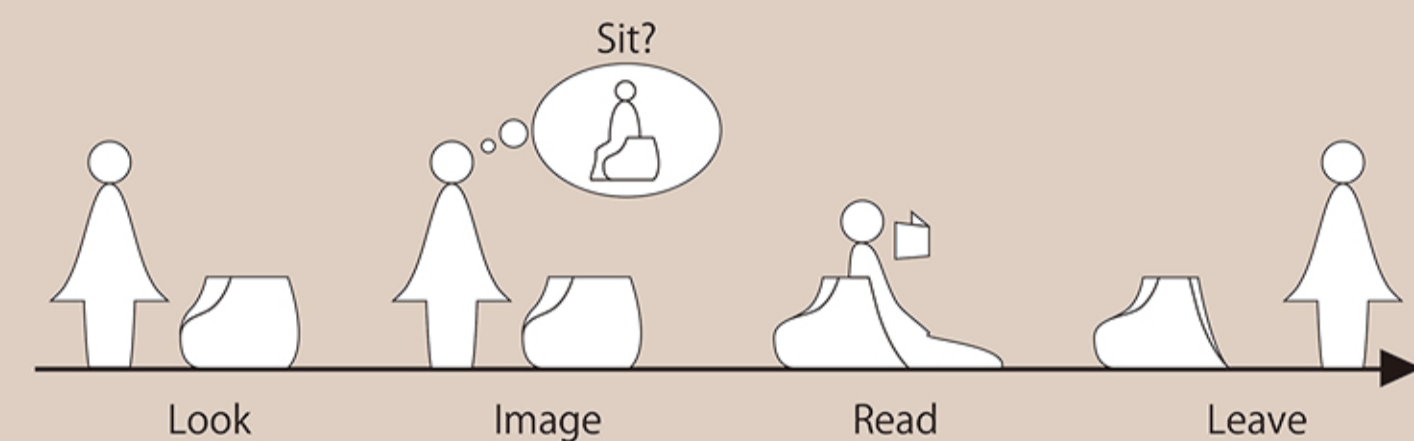
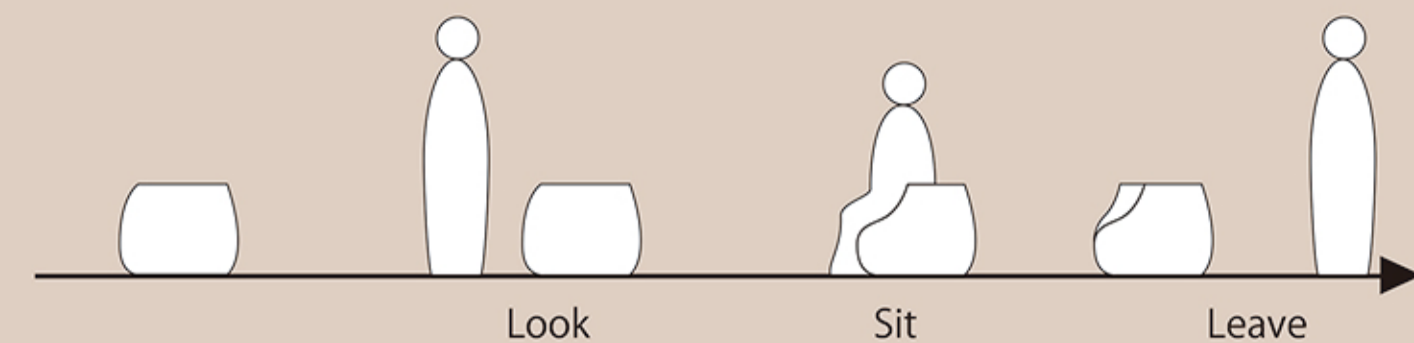
Background

家族のあり方の変化

現代社会において、家族のあり方が変化してきました。核家族化が進み、家族の規模は小さなまとまりとなっていきます。しかし、家庭を構成する人が少数でありながら共働き夫婦の増加や勤務時間の差異により、家庭内のすれ違いの問題が発生してきます。

家族という共同体において、共に暮らしている人がいるという実感は自分が独りではないかという寂しさをすこしながらも埋めてくれるのではないのでしょうか。

Diagram



Concept

この形は何をして過ごしていた「跡」だろう

「Tri-ce」は共に暮らしている人がいることを感じ取れるものとして制作しました。座ったり、寄りかかったりすることにより凹み、「痕跡-trace-」として残ります。「正三角形-tri-」を用い、固めな印象による人が居たという生理的嫌悪感の軽減を狙いました。平面的な変化は、より想像を膨らませることができるのではないかと考えました。

「Tri-ce」には共に過ごす家族を想像させ、相手を思いやるきっかけとなってほしいです。